

小委員会における取組

第 12 回小委員会（令和 5 年 12 月）にて決定した「今後の情報の収集・整理・分析等の具体的内容」（参考資料 4-1 及び 4-2）を踏まえ、令和 8 年度委員会報告の取りまとめに向け、各項目に関する情報の収集・整理・分析等（以下「情報収集等」という。）を行ったので、その結果を以下のとおり報告する。

1. 基本的な考え方

小委員会では、「生物の生息環境」、「ベントス（底生生物）」、「有用二枚貝」、「ノリ養殖」及び「魚類等」の 5 項目に加えて、新たに情報収集等を行うこととなった気候変動影響等に係る知見について、関係省庁及び関係県から適宜報告を受けつつ、情報収集等を行った。

2. 情報収集等に係る小委員会の開催状況について

情報収集等に係る小委員会の開催状況については次のとおり。

第 13 回水産小委

- ・開催日：令和 6 年 2 月
- ・内 容：1. 有用二枚貝に関する情報収集等

第 13 回海域小委

- ・開催日：令和 6 年 2 月
- ・内 容：1. 海域環境等に関する情報収集等
- 2. 気候変動影響等に係る情報収集等

第 14 回水産小委

- ・開催日：令和 6 年 8 月
- ・内 容：1. 有用二枚貝に関する情報収集等
- 2. 赤潮に関する情報収集等

第 14 回海域小委

- ・開催日：令和 6 年 8 月
- ・内 容：1. 生物の生息環境に関する情報収集等
- 2. 有用二枚貝に関する情報収集等
- 3. ベントスに関する情報収集等

第 15 回水産小委・海域小委（合同）

- ・開催日：令和 6 年 10 月
- ・内 容：1. 貧酸素水塊に関する情報収集等
- 2. 気候変動影響などに関する情報収集等

第 16 回水産小委

- ・開催日：令和 7 年 1 月
- ・内 容：1. ノリ養殖に関する情報収集等
2. 魚類等に関する情報収集等

第 16 回海域小委

- ・開催日：令和 7 年 1 月
- ・内 容：1. 魚類に関する情報収集等
2. 気候変動影響などに関する情報収集等

3. 主な情報収集等の結果について

(1) 有用二枚貝に関する情報収集等

- ①広域的な母貝集団ネットワークの形成に関する報告では、モデルを用いたタイラギ着底後の生息環境評価において、タイラギの生息環境として底質の泥分率と中央粒径は関連性が低く、酸揮発性硫化物(AVS)や強熱減量(IL)は高いということが示唆された。
- ②有用二枚貝の資源管理方法の確立、実施等に関する報告では、アサリ等の減耗要因として、豪雨による低塩分、浮泥の堆積、猛暑等が影響していることが示唆された。
- ③泥化対策等の底質改善、貧酸素水塊の軽減対策に関する報告では、凹凸形状の保持による底質環境改善によりタイラギ稚貝の着底効果が発揮していると推察された。また、カキ礁は生物の棲みかであり、浄化機能、物質循環機能等を有することが確認された。さらに、大規模出水前後のデータにより、大規模出水の影響を現地評価により実施された結果が得られた。

(2) ノリ養殖に関する情報収集等

- ①珪藻赤潮発生の予察、水温上昇等に対応したノリ養殖技術の開発に関する報告では、珪藻赤潮によるノリの色落ち対策として、赤潮の動態予測技術の開発や、水温上昇等に対応したノリ養殖技術（高水温耐性品種等）の開発が報告された。

(3) 魚類等に関する情報収集等

- ①有明海・八代海の魚類相に関する調査研究に関する報告では、有明海・八代海奥部はともに広大な干潟を擁するが、魚類生態系構造は異なることが報告された。

- ②有明海・八代海の夏の赤潮発生状況に関する報告では、八代海では4種の有害赤潮が高い水準で発生し、平成27年以降 *Karenia mikimotoi* の発生頻度が増加していることや、八代海では *Chattonella* 赤潮の発生予察は比較的良好に判別されているが、近年の気候変動等により、これまでの予測範囲から大きくずれるケースがみられることが報告された。

(4) 生物の生息環境に関する情報収集等

- ①海洋ごみの回収、処理等に関する報告では、有明海・八代海等において多くの漂流漂着物を継続的に処理されており、特に大雨の直後等には多くの流木・漂着ごみが確認され、令和5年度には、有明海で約516t、八代海で約285tの海洋ごみが回収・処理されたことが報告された。

(5) ベントスに関する情報収集等

- ①ベントス群集の変化・変動要因の解析に関する報告では、ベントス群集の変動要因を、底質グループの変化、ベントスの種組成（指標種）や底質との関連性について解析した結果、一部地点では出水の影響を受けている可能性が示唆されたが、要因解明にはその他の影響（貧酸素化等）も含めたより詳細な解析が必要であることが示唆された。

(6) 気候変動影響等に関する情報収集等

- ①気候変動影響に関する報告では、気候変動の影響を受けて豪雨が頻発していること、豪雨による出水は閉鎖性内湾である有明海・八代海で塩淡水層を強化すること、強化された持続的な塩淡水層は底層の貧酸素化を促進していることが報告された。また、既に生じている有明海・八代海等での気候変動影響、将来予測される影響等について文献に加えて気象データの季節別解析等にて知見を整理した。

4. 小委員会報告の総括（第13回～16回海域・水産小委）について

上記を含む報告について、資料2-2「小委員会報告の総括（第13回～16回海域・水産小委）」に一覧表としてまとめた。

参考：「３．主な情報収集の結果」及び資料４「令和６年度の所掌事務の遂行の状況」との対応状況について

「３．主な情報収集の結果」に係る項目		資料４における別添番号
(１) 有用二枚貝に関する情報収集等	①	別添 1
	②	別添 2
	③	別添 3、別添 4、別添 5
(２) ノリ養殖に関する情報収集等	①	別添 6、別添 7
(３) 魚類等に関する情報収集等	①	別添 8
	②	別添 9、別添 10
(４) 生物の生息環境に関する情報収集等	①	別添 11
(５) ベントスに関する情報収集等	①	別添 12
(６) 気候変動影響等に関する情報収集等	①	別添 13、別添 14